

CASBEE-新築(簡易版)2008年版
けやきの森病院

使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版)2008年
評価ソフト: CASBEE-NCb_2008(v.3.2)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
0 建築物の環境品質								3.4
Q1 室内環境			0.40					3.1
1 音環境		2.8	0.15	2.7	1.00			2.8
1.1 騒音		3.0	0.40	4.0	0.40			
1.1.1 暗騒音レベル	患者の特性により防音仕様の病室がある。	3.0	1.00	4.0	1.00			
1.1.1.2 設備騒音対策		-	-	-	-			
1.2 遮音		2.6	0.40	2.3	0.40			
1.2.1 開口部遮音性能		2.0	0.40	2.0	0.30			
1.2.2 界壁遮音性能	3.0	0.60	3.0	0.30				
1.2.3 界床遮音性能(軽量衝撃源)	3.0	-	2.0	0.20				
1.2.4 界床遮音性能(重量衝撃源)	3.0	-	2.0	0.20				
1.3 吸音		3.0	0.20	1.0	0.20			
2 温熱環境		2.6	0.35	2.6	1.00			2.6
2.1 室温制御		3.0	0.50	3.0	0.50			
2.1.1 室温設定		3.0	0.38	3.0	0.57			
2.1.2 負荷変動・追従制御性		-	-	-	-			
2.1.3 外皮性能		3.0	0.25	3.0	0.43			
2.1.4 ゾーン別制御性		3.0	0.38	3.0	-			
2.1.5 温度・湿度制御		-	-	-	-			
2.1.6 個別制御		-	-	-	-			
2.1.7 時間外空調に対する配慮		-	-	-	-			
2.1.8 監視システム		-	-	-	-			
2.2 湿度制御		1.0	0.20	1.0	0.20			
2.3 空調方式		3.0	0.30	3.0	0.30			
3 光・視環境		3.0	0.25	3.0	1.00			3.0
3.1 昼光利用		3.0	0.30	3.0	0.30			
3.1.1 昼光率		3.0	0.60	3.0	0.60			
3.1.2 方位別開口		3.0	-	3.0	-			
3.1.3 昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	0.40			
3.2 グレア対策		3.0	0.30	3.0	0.30			
3.2.1 照明器具のグレア		-	-	-	-			
3.2.2 昼光制御		3.0	1.00	3.0	1.00			
3.3 照度		3.0	0.15	3.0	0.15			
3.3.1 照度		3.0	1.00	3.0	1.00			
3.3.2 照度均斉度		-	-	-	-			
3.4 照明制御		3.0	0.25	3.0	0.25			
4 空気環境		4.4	0.25	4.0	1.00			4.2
4.1 発生源対策		5.0	0.50	5.0	0.63			
4.1.1 化学汚染物質	F かつホルムアルデヒド以外のVOCの放散量が少ない。	5.0	1.00	5.0	1.00			
4.1.2 アスベスト対策		-	-	-	-			
4.1.3 ダニ・カビ等		-	-	-	-			
4.1.4 レジオネラ対策		-	-	-	-			
4.2 換気		3.0	0.30	2.3	0.38			
4.2.1 換気量		3.0	0.50	3.0	0.33			
4.2.2 自然換気性能		3.0	-	1.0	0.33			
4.2.3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.50	3.0	0.33			
4.2.4 給気計画		-	-	-	-			
4.3 運用管理		5.0	0.20	-	-			
4.3.1 CO ₂ の監視		3.0	-	-	-			
4.3.2 喫煙の制御	病院のため敷地内禁煙。	5.0	1.00	-	-			
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-			3.3
1 機能性		3.8	0.40	3.4	1.00			3.6
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.60	3.0	0.60			
1.1.1 広さ・収納性		3.0	-	3.0	1.00			
1.1.2 高度情報通信設備対応		3.0	-	3.0	-			
1.1.3 バリアフリー計画		3.0	1.00	3.0	-			
1.2 心理性・快適性		5.0	0.40	4.0	0.40			
1.2.1 広さ感・景観	病室天井高2.7m	3.0	-	5.0	0.50			
1.2.2 リフレッシュスペース		3.0	-	3.0	-			
1.2.3 内装計画	内部模型を作成。安全性を重要視した内装計画。	5.0	1.00	3.0	0.50			
1.3 維持管理		-	-	-	-			
1.3.1 維持管理に配慮した設計		3.0	-	-	-			
1.3.2 維持管理用機能の確保		3.0	-	-	-			
2 耐用性・信頼性		2.9	0.31	-	-			2.9
2.1 耐震・免震		3.0	0.48	-	-			
2.1.1 耐震性		3.0	0.80	-	-			
2.1.2 免震・制振性能		3.0	0.20	-	-			
2.2 部品・部材の耐用年数		3.1	0.33	-	-			
2.2.1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.23	-	-			
2.2.2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.23	-	-			
2.2.3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.09	-	-			
2.2.4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.08	-	-			
2.2.5 空調・給排水配管の更新必要間隔	給水管VLP、排水管VP・耐火二層管	4.0	0.15	-	-			
2.2.6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.23	-	-			

2.3 適切な更新			-	-	-	-	
2.4 信頼性			2.6	0.19	-	-	
1	空調・換気設備		1.0	0.20	-	-	
2	給排水・衛生設備		3.0	0.20	-	-	
3	電気設備		3.0	0.20	-	-	
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	
5	通信・情報設備		3.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性			3.1	0.29	3.2	1.00	3.1
3.1 空間のゆとり			3.4	0.31	3.4	0.50	
1	階高のゆとり		3.0	0.60	3.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ	6m(外壁)/36㎡(専用面積) = 0.166	4.0	0.40	4.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.31	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			3.0	0.38	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.17	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.17	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.11	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.11	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.22	-	-	
6	バックアップスペース		3.0	0.22	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	4.0
1 生物環境の保全と創出		既存のけやきの木をできる限り保存する計画	4.0	0.30	-	-	4.0
2 まちなみ・景観への配慮		外装や色彩で周辺に圧迫感を与えないよう配慮している。	4.0	0.40	-	-	4.0
3 地域性・アメニティへの配慮			4.0	0.30	-	-	4.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上	敷地内の祠やけやきの木の保存	4.0	0.50	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上	既存のけやきが敷地に多くあるため、できる限り残す計画とする。	4.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.3
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.3
1 建物の熱負荷抑制			3.0	0.30	-	-	3.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.20	-	-	3.0
2.1	自然エネルギーの直接利用		3.0	0.50	-	-	
2.2	自然エネルギーの変換利用		3.0	0.50	-	-	
3 設備システムの高効率化		GHP空調、照明(在室検知・ゾーニング制御・局所制 ERR=23.6)	4.0	0.30	-	-	4.0
4 効率的運用			3.0	0.20	-	-	3.0
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.1
1 水資源保護			3.4	0.15	-	-	3.4
1.1	節水	節水型器具の採用、擬音装置の採用。	4.0	0.40	-	-	
1.2	雨水利用・雑排水再利用		3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.67	-	-	
2	雑排水再利用システム導入の有無		3.0	0.33	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.1	0.63	-	-	3.1
2.1	材料使用量の削減		2.0	0.07	-	-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.24	-	-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用		3.0	0.20	-	-	
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用		3.0	0.20	-	-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材		2.0	0.05	-	-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	躯体と仕上げ材が容易に分別可能となっている。	4.0	0.24	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.2	0.22	-	-	3.2
3.1	有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.32	-	-	
3.2	フロン・ハロンの回避		3.3	0.68	-	-	
1	消火剤	ハロン消火剤を使用していない。	4.0	0.33	-	-	
2	断熱材		3.0	0.33	-	-	
3	冷媒		3.0	0.33	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.5
1 地球温暖化への配慮		ライフサイクルCO2排出率が一般的な建物(参照値)に対して80%	4.6	0.33	-	-	4.6
2 地域環境への配慮			2.9	0.33	-	-	2.9
2.1	大気汚染防止		3.0	0.25	-	-	
2.2	温熱環境悪化の改善		3.0	0.50	-	-	
2.3	地域インフラへの負荷抑制		2.7	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制	敷地内に十分な駐車スペースを確保している。	4.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		1.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.1	0.33	-	-	3.1
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	1.00	-	-	
2	振動		-	-	-	-	
3	悪臭		-	-	-	-	
3.2 風害、日照障害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			3.7	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	広告物照明なし。光害対策ガイドラインを一部満たす。	4.0	0.70	-	-	
2	昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	